

土浦市民憲章

昭和50年12月23日制定

- 1. 互いに信じ 助けあう
あたたかいころをそだてましょう
- 1. からだをきたえ 仕事にはげみ
あかるい家庭を ぎざぎざしましょう
- 1. 自然を愛し 水とみどりの
きれいなまちを つくりましょう
- 1. 知性を高め 教養をつちかい
文化のみりを ひろげましょう
- 1. 伝統をふまえ 未来をみつめる
若い力を のばしましょう

一中地区市民委員会



発行・編集者：一中地区市民委員会・文化広報部会 発行日：平成30年3月15日（木）
 事務局：一中地区公民館内 TEL：029-821-0104
 世帯数 9,211戸 人口 20,268人（平成30年2月1日現在常住人口）

土浦第一中学校合唱団



お囃子 新川はやし幸友組



風車作り（土小連）



絵画作品展（土浦二小）



ふれあい
第24回
 学びあい

一中地区 公民館 まつり

平成29年11月12日

じゃんけん大会



キャッチボードゲーム



もちつき



宍塚の自然と歴史



一中地区市民委員会
副委員長
佐野 道夫

私が小学生の頃、夏になるとゴルフ練習場の西側山道を通って大池に泳ぎに行った。途中の畑にはトマトやスイカの畑、桃畑があった。その頃は、山の落ち葉や木の小枝を集め家の燃料として使っていたのでどの山も綺麗で、秋には初苜・ほうきだけ・網苜など苜が沢山採れた。池から流れる小川には小鮒・めだか・沢蟹・蛭などがいて泳いだ後はそこで遊んだ。

この池を中心とした自然は、一時宅地公園による二四〇町歩（七二万坪）の宅地開発計画があったが中止になりそのままの状態が残されたが、大池の護岸が補強され桜の木が植えられた。池は用水池として活用し田植え時期や稲穂の出る時は水を利用した。夏の半ばには池も干上がり、鯉・鮒・鯰・鰻・鰻などを多くの人が取り合った。

池の南東三〇〇メートル程の所に上高津貝塚があり秋には小麦が黄金色になり、刈り取った後は白い貝殻の畑に一変した。時には矢じりなども混じっていた。

そこから北側へ数百メートルの所に元の般若寺がある。般若寺は平将門の二女「安寿姫」によって

九四七年に開基された。将門の死後安寿姫は大和路奈良の般若寺に入り修行後尼僧となり父将門の三十三回忌に寺屋敷（現在も地名が残っている）に開基された。盛

んだった頃は、寺領数百町歩あり、本堂・観音堂・釈迦堂と七堂伽藍がそびえ、僧兵数十名が警護にあたっていたとされる。鎌倉幕府の四代「時頼」と親交があり、小田城主「時知」とも親交があった。佐竹・小田の交戦によって永禄・天正にかけ寺社・民家がことごとく焼かれてしまった。その後北西の平地に移り現在に至っている。寺は始め律宗であったが、今は真言宗豊山派となる。寺にある鐘は型は悪いが鐘銘は整然としており、国の重要文化財である。製作は建治元年八月二十七日とあり源海と記されている。

結果石は（県指定文化財）僧侶の戒律厳守の境界でこれより先は領民は足を踏み込む事が出来なかった。これは忍性大和尚の建立したものと思われる。釈迦如来は（県指定文化財）一二七八年に運慶による阿弥陀如来像で現在は飯堂内に安置されている。石造五重塔（県指定文化財）は人間の立体をかたどったもので五つの部品からなり大和尚の墓と思われる。その他釈迦堂内には阿弥陀如来・毘沙門天・脇侍等鎌倉時代の一流仏師による多くの像がある。（般若寺に付

いては父 佐野春介の書より）宍塚は縄文・弥生時代の遺跡も多く、自然豊かな歴史の里である。

我が街 港町



港町三丁目地区長
黒田 千勝

当町内の地域は、食糧増産のため、国の認可の基に霞ヶ浦の一部を堤防で締め切り、公有水面埋立事業として、昭和初期に藤川組の藤川捨吉氏が、十年間の歳月をかけ、この難工事を、人力において堤防を築き、干拓事業を完成させたと言われています。

ここに十五町歩の水田が生まれました。又、藤川氏は干拓農場の経営に当たり、度重なる水害に見舞われましたが、幾度の災害復旧のすえ、後に米約九〇〇俵を収穫し、県下一の模範農場として、脚光を浴びる事になったと言われています。

いわゆる「藤川新田」であります。昭和四十三年藤川新田は、市の住宅公社に住宅用地として譲渡され、公社は霞ヶ浦に堆積した底泥を利用した計画に基づき浚渫船（サンドポンプ）より送水管を敷き、埋め立てを開始して昭和四十五年に住宅地として造成されました。第一期分譲、第二期分譲と売り出

され、昭和四十七年湖畔の住宅街として生まれ変わりました。

同四十七年十一月、土浦市第一次住宅表示事業によって港町三丁目編入され現在に至っています。

町内の区域は、土浦駅東口から東へ約1kmの位置にあり、南側は桜川の最末端となり、霞ヶ浦に注いでいます。東側は広大な霞ヶ浦と、遠方にかすみがうら市、阿見町、美浦村の一部が見え、又晴れた日には、遥かに鹿島臨海工業地帯の立ち並ぶ煙突も見ることが出来ます。北西方面は土浦港、そして隣接するのが港町二丁目です。

このように三方が、湖岸堤と湖面に囲まれ比較的景観や環境に恵



まれた静かな住宅地域であると思
います。

現在町内の住宅構成は、一戸建
住宅が主体でマンション一棟、有
料老人ホーム一棟、アパート十三
戸から成る、総世帯数三五五戸で
あります。

町内の事業は、港町三丁目町内憲
章である(きれいな、明るい、住み
よい街)づくりを推進するため、町
内の総会に於いて一年間の行事を協
議決定をし、町内の各種団体(寿会、
青壮年会、育成会等)の協力を頂き
行事活動を行っています。

街の景観について、町内を取り
囲む湖岸堤には遊歩道共に1.2k
mに渡り、樹齢四〇年を超える桜
並木があり、春には満開の桜が町
内を包み地域住民の目を楽しませ
てくれます。又元旦には霞ヶ浦の
湖面から昇るご来光を求めて、近
年はカメラ片手に多くの人が訪れ
ます。

機会がありましたらこの街を散
策なされたらいかがですか？

心に残る
発見が出来
るかも知れ
ません。

以上我が
街港町につ
いて記載さ
せて頂きま
した。



交流ウオーキングを終えて

文化広報部

部長 新井 幸男

文化広報部の年間行事計画として
部員の交流を深めようとの趣旨から
昨年十一月十九日(日)に「まち歩き
交流ウオーキング」を行いました。

当日は、秋晴れの好天に恵まれ
た状況の中、部員の他お友達を誘い
合い十二名が参加され、土浦市観光
ボランティアガイドの大川様・萩島
様の案内により、午前九時から約三
時間掛けて、「小町の館」を起点と
して周辺の寺社等を巡りました。

時期的に赤や黄色に色づいた木々
を眺めながら紅葉の中での散策と
いったところでした。また、周辺の
畑では柿の実りが最盛期であり、あ
る農家の方からはお土産にどうぞと
声を掛けられ、皆さんで遠慮無く頂
くこともできました。

コースとしては、小町の館から小
田方面に向かい、欄干に小町の像が
四体置かれている沢辺橋、県内最大
級と言われている五輪塔のある金嶽
神社、そして東城寺、毎年四月に流
鏝馬神事が行われている日枝神社と

約六キロの行程を巡りましたが、私
を含め土浦に住みながら初めて訪れ
た場所や、歴史的にも大変貴重な建
築物であることなど、改めて発見す
ることができ良かったとの意見が多
く、交流を深めながらの良いひとと
きを過ごすことが出来ました。

私たちの会は、発足してから二十
余年がたち、その間にメンバーを変
えながらも継続してきました。現在
八名の会員が練習に参加していま
す。主な内容は、楊式太極拳八十八
式と健康気功、動物気功等の五種類
の気功を練習しています。

講師は、趙玉祥先生です。先生は、
中華人民共和国の出身で、幼い頃か
らは北京の大学で中国武術の講師を
されていたそうです。今から三十年
位前に来日され、日中伝統武術協会
を設立し、中国武術の普及に尽力さ
れています。茨城県の各地に先生の
教室が在り、毎日たくさん生徒さん
に教えていらつしゃいます。また、
先生は山西省形意拳の伝承者でもあ
ります。日曜日には石岡の道場で教
えていらつしゃいます。



同好会だより 中国武術気功友の会

私たち「中国武術気功友の会」は、
主に一中地区公民館を会場にして、
毎週土曜日の午前十時から十一時
三十分まで練習をしています。





私たちの練習内容を紹介します。まず、最初に、「気功」を行います。リラックスしながら、ゆっくりとした先生の動きを真似しながら行います。次は、「楊式太極拳」です。音楽に合わせて行います。私は、まだ未熟なので、先生の動きに合わせるのが精一杯ですが、長くやられている生徒さんは、とても上手にできます。最後に、太極拳を反復練習して終わりになります。少ない会員ですが、和気あいあいと練習しています。現在会員を募集しています。興味のある方は、是非一度練習を見てみてください。

同好会たより
ハワイアンキルトの会
佐藤いづみ

私たち「ハワイアンキルトの会」は、この一中地区公民館で活動を始めてから十年になります。講師の藤田歌子先生からのアドバイスを受けハワイアンキルトから様々なパッチワークやバック、小物入れ、タペストリー、ベビーキルト等々、思い思いに作品を作っています。食えることが大好きなメンバーが多くいるためか、年に一回の秋のお食事会も、毎年楽しみのひとつになっています。また、活動の日には、メンバー同士のおしゃべりにも花が咲き、手の動きが止まってしまうこともしばしばで、和気あいあいの時間が流れます。メンバーは地区内に限らず、広く市内から、または他の市や町からも集まります。毎月第一、第三金曜日の十三時〜十五時三十分まで楽しんでます。そして、出来上がった作品は、毎年秋に開かれる公民館祭に展示しています。特に課題があるわけでもなく、各自作りたい作品を自分のレベル、ペースに合わせて挑戦しているのでも、とてもリラックスして活動を続けることができます。皆、それぞれの作品作りですが、



共通していることは、「キルトが大好き！」ということ。上手下手、経験の有無、そして年齢など、何も関係ありません。どうぞ興味のある方、一緒に作品作りをしてみませんか？ご参加お待ちしております。



茨城県知事賞を受賞

第45回 花と緑の環境美化コンクールにおいて一中地区コミュニティセンターが県知事賞を受賞いたしました。

このコンクールは、「花いっぱい運動ですばらしい成果をあげている地域・団体・職場・学校を表彰し、地域住民及び児童・生徒の環境美化に関する関心・意欲を高め、花いっぱい運動を推進することを目的に実施」されるものです。



社会福祉協議会中央支部だより

困りごとは、ありませんか？

公民館には、社協の地域ケアコーディネーターが皆さんの困りごとをお聞きし、必要な情報の提供や、関係機関への橋渡し役として、相談業務をおこない、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」をサポートします。お子さんから高齢者まで、幅広く受け付けています。

何かの際には、気軽にお声かけください。 【821-0104 担当：須藤】



「まごころ」を届けています！

70歳以上のひとり暮らし高齢者や支援が必要な方の安否確認や孤独感を解消していただくため、毎月第2・4水曜日にボランティアサークル「たまき会」の方がまごころ込めて作ったお弁当をお届けしています。

お弁当作りに興味のある方は、一中地区公民館(821-0104 担当：須藤)にお問い合わせください。



龜俳句会(同好会)

片方の眼の落ち午後の雪だるま

杉野 寵児

生きるほど知らぬこと増え冬木の芽

今泉 準一

居残るは己の意志か春の鴨

今泉 晴美

あめ色の蚕かそけ糸を吐き

垣内かをり

剪定とは名ばかりの乱切りの枝

金岡 景子

打水をして風の道つくりけり

河口美津子

六曜は無用の用や初暦

矢口 征子

流燈の果てし灯を黙の母

渡辺ふみ子

短歌

新春の戸田の朝風透き徹り

さゆらぐ波に海星まどろむ

中央一丁目 櫻井 雅江

早春の入り江を洗う瑠璃の波

破船を揺らす弦の音響く

大町 齋藤 順子

咲き初むる庭の水仙惜しむなく

香りをつれて友抱へくる

大和町 瀬古澤和子

水仙のふあつと香るキッチン

ひそみし春の和らぎのあり

田中一丁目 井上 寛江

夜半に舞う万の花びら乱れ雪

春の一夜をあなたはさくら

生田町 金丸 玉貴

春がくる山いっばいに咲き乱れ

誰から咲くやこの花咲くや

生田町 桑田今日子

編集後記

弥生三月、梅の見頃が過ぎ問もなく桜舞う季節がやってまいります。

学生さんは卒業式、社会人は年度末と何かと忙しい締めくくりの時期でもあります。

一方、春夏秋冬と一年を通じ季節の始まりの時期でもあり、暗い冬の時が過ぎ、春の若葉が芽を吹き始め、今まさに開花を待ち望んでいる今日この頃です。

さて、本号も大勢の皆さまに寄稿頂きました。

中でも、新たに「龜俳句会」から寄稿を頂きまして編集委員一同心より感謝申し上げます。

(本号の編集担当名)

新井 幸男／田中久美子
岡部 恒文／横山 光栄
梅木 逸夫／進士 武之
小野村一博／加藤 節子
山本 敦子

